

会

告

会費納入についてのお願い

昭和 44 年分会費の納入期がまいりました。会費は毎年 12 月に 1 年分を前納するか、または毎年 12 月および 6 月の 2 回に分けておのおの 6 カ月分を前納していただくことになっておりますので、別送の振替用紙または現金書留にてお払込み下さいますようお願いいたします。

会員団体所属の会員にあつては幹事宛お支払下さい。

記

正 会 員 年 会 費 2,400 円

学生会員年会費 1,500 円

外国会員年会費 3,600 円

宛先 東京都千代田区大手町 1 丁目 5 番地 経団連会館 3 階

社団法人 日 本 鉄 鋼 協 会

電 話 (03) 279-6021

郵便振替口座 東京193番

第 3 回西山記念技術講座開催のお知らせ

— 昭和 44 年 2 月 25・26 日 —

本会では鉄鋼の製造、研究に従事する技術者を対象に、鉄鋼技術に関する最近の動向、将来の問題などについて、それぞれの権威者からご講演を願い、討論を行なうため、昭和 40 年より「技術講座」の名称で講習会を開催してまいりましたが、本年 8 月より「西山記念技術講座」と改称、川崎製鉄(株)前会長故西山弥太郎氏記念のため当協会へ寄贈された資金により運営いたしております。

第 3 回は「金属材料の疲労」をテーマに取り上げ、下記のプログラムにより開催いたします。多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 昭和 44 年 2 月 25 日(火)、26 日(水)

2. 会 場 農協ホール(9 階)(東京都千代田区大手町1-5)

(国電東京駅丸の内北口下車徒歩約10分 農協ビル9 階)
(地下鉄丸の内線・東西線大手町下車)

3. プログラム — 金属材料の疲労 —

第 1 日(2 月 25 日(火) 9:30~15:30)

9:30 金属材料の疲労現象に関する最近の諸問題

東北大学 横堀 武夫君

13:00 疲労損傷について

電気通信大学 田中 栄君

第 2 日(2 月 26 日(水) 9:30~15:30)

9:00 腐食性環境と疲労強度

東京大学 北川 英夫君

13:00 疲労試験における実験計画法

東京工業大学 吉本 勇君

4. 聴 講 無 料 事前のお申し込みは不要です。

5. テキスト代 1000 円

別刷(各講師分)は技術講座以後 1 部 300 円 にて分譲いたします。

第 77 回講演大会見学会、懇親会のお知らせ

本会では第 77 回講演大会を昭和 44 年 3 月 28 日（金）、29 日（土）、30 日（日）の 3 日間東京工業大学において開催いたしますが、講演大会に際し下記のごとく見学会、懇親会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内いたします。

見学会申し込みについて

—— 申込締切日昭和44年 3 月 1 日（土）——

記

1. 期 日 昭和44年 3 月 31 日（月）
2. 申込締切日 昭和44年 3 月 1 日（土）12時着信まで
3. 申込方法 別記「見学会参加申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙（1 人 1 枚）に必要事項を記入し、会費（現金書留）を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受付いたしません。
4. 見学会費} N17ページの見学班表をご参照下さい。
5. 申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会 見学会係
電話 東京 (03) 279-6021（代）
郵便番号 100

見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
2. 申し込み締切りは 3 月 1 日（木）12時着信までとします。
3. 申し込みは 1 人 1 班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第 3 希望まで順位をご記入下さい。
4. 見学班決定後の見学会費の精算は大会中に見学班受付で行ないます。
5. 見学班が定員に満たぬ場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
6. 見学会が中止となつた場合は、大会終了後 2 週間以内に会費を返金いたします。ただし、お申し込みの取消しは 3 月 20 日 16 時着信までとし、以後は取消しの申し出があつても返金いたしません。
7. 各班とも工場内での写真撮影は禁止といたします。

懇親会の申し込みについて

—— 申込締切日 44 年 3 月 15 日 ——

講演大会に際し全国各地からお集まりになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気の催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和 44 年 3 月 28 日（金）18:00~20:00
2. 会 場 迎賓館 東京都港区芝白金台町 2-26 電話 (03) 444-1231
3. 会 費 1000円（同伴夫人はご招待いたします）
4. 申込締切日 昭和 44 年 3 月 15 日（土）
5. 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費（現金書留）を添えお申し込み下さい。
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
6. 申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会 懇親会係 電話東京 03-279-6021
郵便番号 100

第77回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 昭和44年3月1日(土) 12時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階 郵便番号 100

日本鉄鋼協会 見学会係

会員資格	名誉	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名					
勤務先および 職 名					
勤務先所在地 (郵便番号)					
領収書送付先 (郵便番号)					
通信先(勤務 先と違う場合) (郵便番号)					
第1希望 第2希望 第3希望		班 班 班		送金類 ￥	

.....切.....取.....線.....

第77回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和44年3月15日(土) 12時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階 郵便番号 100

日本鉄鋼協会 懇親会係

会員資格	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名				
勤務先および 職 名				
勤務先所在地 (郵便番号)				
領収書送付先 (郵便番号)				
通信先(勤務 先と違う場合) (郵便番号)				
ご夫人名			送金額 ￥ 1000	

日本鉄鋼協会第77回(春季)講演大会工場見学班表

班	定員	見 学 先	時 間	所 在 地	見 学 内 容	集合出発時間	会 費 (円)
1	40	関東自動車工業(株) * 日本IBM(株)藤沢工場	10:00~ 12:00 14:00~ 16:00	横須賀市田浦港町 藤沢市桐原町1	自動車ボデー製造工程 電気計算組織組立	経団連会館前 8:30 解散東京駅丸の内側 17:00	800
2	50	* 東京芝浦電気(株)府中工場 サントリー(株)武蔵野工場	10:00~ 12:00 13:00~ 15:00	府中市東芝町1 府中市矢崎町3-1	電気車両, 制御装置 配電装置 ビール製造工程	経団連会館前 9:00 解散東京駅丸の内側 16:00	800
3	50	八幡製鉄(株)東京研究所 * 富士通(株)川崎工場	10:00~ 12:00 13:30~ 15:30	川崎市井田1618 川崎市上小田中1015	鉄鋼の分析, 物理試験 電算機工場ならびに 電算機センター	経団連会館前 9:00 解散東京駅丸の内側 16:30	800
4	50	日本鋼管(株)京浜製鉄所 水江地区 * 日本電気(株)玉川事業部 所	10:00~ 12:00 13:30~ 15:30	川崎市南渡田町2730 川崎市下沼部1753	高炉, 分塊, 熱延工場 搬送装置, 無線通信 装置, 半導体	経団連会館前 9:00 解散東京駅丸の内側 16:30	800
5	50	* 三菱製鋼(株)東京製鋼所 川崎製鉄(株)千葉製鉄所	9:30~ 11:30 14:00~ 16:00	江東区東雲 1-9-31 千葉市川崎町1	圧延設備, ばね製造設備 正面岸壁, 高炉, 圧延	経団連会館前 9:00 解散東京駅丸の内側 17:30	800

1. *印は同業者お断り, 2. 写真撮影禁止

日本鉄鋼協会原稿用紙郵送料のお知らせ

本会会誌「鉄と鋼」へ投稿される場合は、本会所定の原稿用紙にて投稿することになっております。原稿用紙は1部30円にて販布しておりますが、購入手続をとられる場合は、原稿用紙代のほかに下記送料を添えお申し込み下さるようお願いいたします。

記

第一種定形外扱い () 内は原稿用紙代+送料

1冊	45円 (75円)	4冊	115円 (235円)
2冊	65円 (125円)	5冊	200円 (350円)
3冊	95円 (185円)		

小包郵便扱い

① 15冊以内 (2 kg まで)

② 30冊以内 (4 kg まで)

	宛 先	重 量	2 kg まで	4 kg まで
都 内	都内 23 区		70円	90円
第一地帯	山宮福茨千栃都埼群山長石富新神静愛岐滋三 形城島城葉木下玉馬梨野川山湯川岡知阜賀重		120円	150円
第二地帯	青秋岩福京和大奈兵岡鳥島広徳高香愛 森田手井都山阪良庫山取根島島知川媛		160円	200円
第三地帯	北山鹿福熊大宮佐長 海道児島岡本分崎賀崎		230円	280円

(注) 30冊以上まとめてご希望の方は、その都度ご連絡下さい。

申込先 100 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
社団法人 日本鉄鋼協会庶務課 Tel. (03) 279-6021 (代表)

第14回材料強度と破壊国内総合シンポジウム

共 催 日本学術会議強度と破壊委員会，日本鉄鋼協会，ほか 16 学協会
協 賛 応用物理学会，ほか 9 学協会
日 時 昭和44年 3 月27日（木）9:15～17:00
会 場 東京工業大学講堂

題目および講師

- | | | | |
|----------------|---------------------------------|----------|-------|
| 1) 9:20～10:00 | 析出硬化の転位論 | 東北大金研 | 幸田 成康 |
| 2) 10:05～10:45 | 鉄鋼の強靱化と加工熱処理
一特に変態途中の加工について— | 阪大 | 田村 今男 |
| 3) 10:50～11:30 | 環境に敏感な機械的挙動と破壊 | 住友化学 | 木島 茂 |
| 4) 11:35～12:15 | 鉄鋼材料の中性子の照射脆化 | 早大 | 長谷川正義 |
| 5) 13:10～13:50 | 高分子フィルムの疲労破壊 | 富士フィルム中研 | 上野 弥 |
| 6) 14:00～15:00 | 金属疲労破壊の動的挙動について | 東北大工 | 横堀 武夫 |
| 7) 15:20～16:00 | 鉄単結晶における劈開破壊の発生と伝播 | 九大応力研 | 北島 一徳 |
| 8) 16:10～17:00 | 圧力容器の破損例とその原因解析 | 船舶技研 | 小倉 信和 |

参加無料

シンポジウム論文集 (Proceedings of 14th National Symposium on Fracture (活版印刷約 150ページ，一部送料共 700円) がありますから，希望者は代金を添えて 3 月20日迄に 仙台市大町三丁目東活ビル内 日本金属学会宛お申込み下さい。(以後は当日会場売り)

高温材料技術講習会

— 高温発生技術 —

主 催 窯業協会
協 賛 日本鉄鋼協会ほか計 7 団体
と き 昭和 44 年 3 月 10 日(月)～13日(木) 9:30
と ころ 工学院大学会議室 東京都新宿区角筈
電話 03-342-1211 交通：新宿駅西口 徒歩 3 分

日 程 と 内 容

- | | | | |
|------------|---|--------|----------------|
| 3 月10日 (月) | 高温をどう実現するか | 東工大 | 田賀井 秀 夫，ほか 4 件 |
| 3 月11日 (火) | ロータリーキルンの技術的諸問題 | 岩佐機械工業 | 財 津 久 司，ほか 2 件 |
| 3 月12日 (水) | 真空炉技術とその応用 | 日本真空技術 | 武 井 宏 真，ほか 2 件 |
| 3 月13日 (木) | 原子力による高温利用の可能性 | 東工大 | 鈴 木 弘 茂，ほか 2 件 |
| 受 講 料 | 協賛団体会員 1 名 10,000円
テキスト 1 部代を含む。昼食は自弁に願います。 | | |
| テキスト | 当日会場でお渡しします。ただし前送 (7 日前の予定) を希望の方は，郵送料として 100円を上記受講料に加算，または申込書送付の際切手代用でお送りください。 | | |
| 定 員 | 100 名 | | |
| 締 切 | 昭和 44 年 2 月20日 | | |
| 申込方法 | 後掲の書式でお申込みください。ご請求くだされば申込書付プログラムをお送りします。 | | |
| 申 込 先 | 照合・先送金先
(郵便番号 160) 東京都新宿区百人町 3-334
窯業協会 企画委員会 電話 03-362-5231 | | |

MIT 夏期講習会のお知らせ

下記によりMIT夏期講習会が行なわれますので、参加されたい方は直接お申し込み下さるようご案内いたします。

Computer Applications in Naval Architecture & Ocean Engineering Monday, July 28, through Friday, August 8, 1969

The objective of this course is to illustrate good and bad practices in numerical analysis and programming techniques by specific examples applicable to the fields of Naval Architecture and Ocean Engineering. The course is designed for engineers and engineering managers with no programming experience beyond a one-week Fortran course or equivalent. The program will involve actual problem solving on a computer.

The program is under the direction of Professors J. E. Kerwin and D. E. Cummings of the Department of Naval Architecture and Marine Engineering at M. I. T.

Planning and Control of Ship Production Processes Monday, August 11, through August 15, 1969

Effective Ship Production Process Control requires extensive material, production, and erection flow and related manloading planning, supported by real time process control. This program is designed to discuss the techniques, use, and potentials of network theory, decision networks, decision theory sequential process control, and numerical control methods to the problems of ship production process planning and control including the derivation of shipyard resource allocation, ship production facility layout, and production process design. Prof. E. G. Frankel of the M. I. T. Department of Naval Architecture and Marine Engineering will be in charge.

Welding Fabrication in Shipbuilding and Ocean Engineering Monday, August 18, through Friday, August 22, 1969

This program will deal with the technical problems unique to welding fabrication of marine vehicles and ocean-engineering structures. The program designed for engineers who are concerned with a range of problems related to welding fabrication.

Subjects planned to be covered include (1) present and future marine vehicles and ocean-engineering structures, (2) materials to be used for these structures, (3) welding processes, (4) welding of high-strength steels, aluminum alloys, and titanium alloys, (5) residual stress, distortion, and stress relieving, (6) strength of welded structures, and (7) economics and production control.

Lectures will be given by the members of the M. I. T. Department of Naval Architecture and Marine Engineering and selected guest speakers from the Government and industry under the general direction of Professor Koichi Masubuchi.

For further information, please write to:

Director of the Summer Session
Room E19-356
M. I. T.
Cambridge, Massachusetts 02139 U. S. A.

— 特別報告書 —

『日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集(1967年度)』刊行のお知らせ

昭和 42 年 5 月本会が派遣した訪ソ学術使節団の報告書「日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集・1967年度」がこのたび刊行の運びとなりました。

この書は的場幸雄氏(富士鉄中研所長)を団長とする松下幸雄(東大教授), 盛利貞(京大教授), 不破祐(東北大教授), 頼川清(八幡), 山崎桓友(富士), 中川義隆(日鋼)の各団員および A. M. SAMARIN 氏を中心としたソ連側からのシンポジウム提出論文(22件)を中心に, 研究所, 大学の見学記, ならびに各団員のソ連における感想をまとめたものであります。購読ご希望の方は下記によりお申し込み下さい。

記

書 名 「日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集(1967年度)」 211 ページ B 5 判 上製本

価 格 会員 1900 円, 非会員 2500 円(送料不要)

申込方法 所要部数, 送り先, 氏名を記し, 代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。

申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会 編集課(〒番号 100)

論文題目

- (1) 鉄鉱石のガス還元における速度論と機構
- (2) 酸化鉄還元における酸素分圧の連続測定
- (3) 金属酸化物固溶体の還元に関する熱力学
- (4) ペレットの還元膨脹 (swelling)
- (5) ロッキング炉による溶鉄の脱硫に関する研究
- (6) 酸素および Fe_2O_3 による溶鋼の脱炭反応
- (7) 溶融塩および金属融液の熱力学と構造
- (8) 溶融 CaO-SiO_2 , $\text{CaO-SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$, $\text{CaO-SiO}_2\text{-TiO}_2$, $\text{CaO-SiO}_2\text{-FeO}$ 系の 1550°C における水蒸気溶解度
- (9) 溶融酸化物の半導体について
- (10) 浮揚溶解による脱酸剤の酸化に関する研究
- (11) アーク溶接時の脱酸反応
- (12) 溶融鉄および溶融 18Cr-8Ni-Fe 合金の Ti 脱酸
- (13) ニッケルおよびニッケル・クロム融体の脱酸
- (14) 溶融金属の諸性質と構造
- (15) 溶鉄の粘性について
- (16) 金属融体の電子構造
- (17) 溶鉄の短範囲規則性構造と溶鉄への窒素の溶解度
- (18) 溶融合金の微視的不均一性と鋼脱酸の問題
- (19) 鉄炭化物溶融合金の熱力学に関する 2, 3 の問題
- (20) 希薄溶体の成分の活量を計算する方法
- (21) 溶液の微視的不均一性
- (22) 珪素鋼板の脱炭について

S. T. ROSTOVTSSEV

松下幸雄, ほか

A. N. MEN, ほか

不破 祐

松下幸雄

不破 祐, ほか

I. T. SRYVALIN

不破 祐, ほか

E. A. PASTUKHOV, ほか

盛 利貞

頼川 清

〃

V. V. AVERIN

A. SAMARIN

中川義隆

V. V. GRIGOROVICH

A. SAMARIN

A. A. VERTMAN

L. A. SHVARTSMAN

I. S. KULIKOW

N. N. SIROTA

山崎桓友

— 特別報告書 —

「わが国における最近の分塊技術の進歩」刊行のお知らせ

日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告

弊会では日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告書「わが国における最近の分塊技術の進歩」を 8 月発行いたしました。

ご承知のとおり, 分塊工場の機能は, 一貫鉄鋼製造工程において, 製鋼工場と成品圧延工場に位し, 工程管理的には, 両者間の緩衝作用をなし, また品質的には成品圧延で要求される諸条件を備えた材料を供給するという, きわめて重要, かつ不可欠のものであります。

本書は, 分塊における最近の技術, 進歩を主体に編集したもので, わが国分塊技術の現状を総合的に把握し, 将来の技術向上, 専門知識の修得, また社内教育のためにも貴重な資料であります。購読ご希望の方は下記によりお申し込み下さい。なお, 本書は限定版でございますので早日にお申し込み下さいますようお願いいたします。

記

書 名 「わが国における最近の分塊技術の進歩」(B 5 版 272 ページ 上製本)

価 格 会 員 1900 円 非会員 2400 円(送料不要)

申込方法 所要部数, 送り先, 氏名を記し, 代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。

申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階

日本鉄鋼協会 編集課(〒番号 100)